

令和4年3月25日

令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

都・道・府・ <b>県</b>		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
三木市立志染小学校	三木市教育委員会	国・ <b>公</b> ・私

1. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

小学校第1・2学年の「生活科」6時間を削減して、「外国語活動」に充てる。

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

三木市においては、次代を担う子どもたちに、ふるさとの歴史や文化、とりわけ伝統産業である三木金物の素晴らしさを伝え、我がまち三木市を愛する豊かな心を育むとともに、ものづくりを通じて自ら考え、生きる力を育成してきた。これまで取り組んできた「ふるさと教育」や「心の教育」を基盤として、今後のグローバル化に対応できる子どもたちを育むため、小学校低学年から「聞く」「話す」体験を中心とした「外国語活動」に取り組む。

(3) 特別の教育課程に基づく教育の実施状況

ア 実施体制

ALTを活用した「外国語活動」が行えるよう、今年度は専科を設けて、打合せを丁寧に行い、一貫した指導が行えるよう、年間計画を細かく立てて実施している。生活科や特別活動、イングリッシュウィークなどで年間20時間実施している。掃除や休み時間などもALTと一緒に過ごし、外国語に慣れ親しむようにしている。

イ 指導計画及び授業の内容

三木市外国語研修部会で作成したカリキュラムに沿って行っている。あいさつ、自己紹介、数、好きなもの、体を動かす、自分の体、クリスマス、文房具等の英単語に触れながら、ゲームをしたり歌を歌ったりして英語での表現に親しむよう計画している。

(4) 情報提供の状況

ホームページや学級通信等で保護者へ情報を提供するとともに、オープンスクールでALTと行う「外国語」の授業を公開し周知を図った。

(5) 特例の適用開始日及び、取組の期間

- ・ 特例の適用開始日 : 平成 28 年 4 月 1 日
- ・ 変更した特例の適用開始日 : 令和 2 年 4 月 1 日
- ・ 取組の終期 : 今後も継続した取組を予定

## 2. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

### (1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・ 一部、計画通り実施できていない
- ・ ほとんど計画通り実施できていない

### (2) 実施状況に関する特記事項

※ (1) で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

### (3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・ 実施していない

<特記事項>

## 3. 実施の効果及び課題

### (1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。また、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

### (2) 実施の効果

外国語で簡単なゲームを行ったり歌を歌ったりすることで外国語に対する抵抗感がずいぶんなくなった。また、学校生活の中でできるだけ英語を使うように意識するイングリッシュウィークに全学年で取り組むことでイングリッシュウィーク以外でも英語を使ってあいさつをしたり、健康観察で自分の健康状態を答えたりする児童が増えてきた。保護者や学校評議員からも「児童のアンケート結果から英語を学ぶのが楽しいと感じている児童が非常に多い。」「家でも子どもたちが英語について話をしている。親世代は、中学校からのことなので英語に親しむのは早いかな？と思っていたが、難なく受け入れているので驚いている。」の意見が聞かれるなど、実施の効果が見られた。

## 4. 課題の改善のための取組の方向性

授業として外国語活動を行うのは年間を通して限られた回数である。そのため、外国語の表現がなかなか児童に定着しない。そこで、朝の会や終わりの会等を活用して外国語の歌を歌う、また生活科や国語科など他の教科でも外国の文化や言語に触れる機会を設けるなどの取組を通して、外国への関心を高めたい。また、このことで外国語の音声や基本的な表現にも慣れ親しませることができると考える。さらに ALT を有効に活用するため、ALT との行事や休み時間、掃除など授業外での交流を、今後も積極的に進めていく。